

科目名	エキゾチックアニマル1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 長嶺幸介
学科・コース	エコ・イノベーション科 昼ー4年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	牧場、ペットショップスタッフ経験を経て、現在は移動動物園スタッフとしても活動中。					
授業の学習 内容	近年、エキゾチックアニマルは、動物園・水族館、ペットショップ、動物病院、のみならずカフェやふれあい施設など扱う機会が多い。基本的なエキゾチックアニマルの中でも主に哺乳類と鳥類の中からピックアップした種について、分類、行動や習性・生理などを含む生態、などを理解し、適切な取扱と飼育管理ができることを目指す。					
到達目標	動物たちについて、正しい知識を身につける。動物たちを正しく扱うことができる。これらを踏まえて、適切な飼育管理をすることができることを目標とする。					
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	草食齧歯類について理解できる(モルモット)		
2		講義	草食齧歯類について理解できる		前回の授業のノートを必ず読んでくる
3		講義	草食齧歯類について理解できる(チンチラ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
4		講義	重歯目について理解できる(ウサギ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
5		講義	重歯目について理解できる(ウサギ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
6		講義	食肉目について理解できる(フェレット)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
7		講義	食肉目について理解できる(フェレット)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
8		講義	食虫目について理解できる(ハリネズミ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
9		講義	食虫目について理解できる(ハリネズミ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
10		講義	雑食性齧歯類について理解できる(ハムスター)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
11		講義	雑食性齧歯類について理解できる(ハムスター)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
12		講義	雑食性有袋類について理解できる(フクロモモンガ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
13		講義	鳥類について理解できる(オウム・インコ・フィンチ)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
14		筆記試験	授業で学んだ内容の総復習ができる		前回までの授業のノートを必ず読んでくる
15		講義	鳥類について理解できる(鶏・鶉・アヒル)		前回の授業のノートを必ず読んでくる
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					
教科書は無し。参考書は必要に応じて随時。教材としては、飼育室の動物たちに協力をしてもらいます。					

科目名	エキゾチックアニマル2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸 介
学科・コース	エコ・イノベーション科昼ー4年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長、動物関連番組の監修等						
授業の学習 内容	エキゾチックアニマルは、動物業界度の分野においても扱う機会が増加している。本授業では、基本的な種類について、分類や生態等についてや、保定や馴致、手入れなどの取り扱い等について理解し、適切な飼養管理を行う基本を身につけることを目指す。						
到達目標	動物についての正しい知識と、正しく扱うための技術を身につけて適正な取り扱い、飼養管理ができること。また、それを伝えることができること目標とする。						
評価方法と基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ハムスターについて理解する	授業の復習(ノート整理)
2		講義	スナネズミについて理解する	授業の復習(ノート整理)
3		講義	飼鳥について理解する(インコ類)	授業の復習(ノート整理)
4		講義	飼鳥について理解する(フィンチ類)	授業の復習(ノート整理)
5		講義	飼鳥について理解する(猛禽類)	授業の復習(ノート整理)
6		講義	飼鳥について理解する(その他)	授業の復習(ノート整理)
7		講義	爬虫類について理解する(カメ)	授業の復習(ノート整理)
8		講義	爬虫類について理解する(トカゲ)	授業の復習(ノート整理)
9		講義	爬虫類について理解する(ヘビ)	授業の復習(ノート整理)
10		講義	爬虫類について理解する(その他爬虫類)	授業の復習(ノート整理)
11		講義	両生類について理解する(カエル)	授業の復習(ノート整理)
12		講義	両生類について理解する(サンショウウオ)	授業の復習(ノート整理)
13		講義	両生類について理解する(その他両生類)	授業の復習(ノート整理)
14		定期試験	筆記試験	試験振り返りと復習
15		講義	後期補足と内容の理解	後期内容のまとめと理解
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クラフトワーク 化石プレパレーション1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	櫻井俊 介
学科・コース	エコ・イノベーション科 昼-4年制	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	本校卒業→動物園勤務→建築関係会社勤務→現在は個人で建築関係+爬虫類ケージ製作販売業を営む						
授業の学習 内容	アクア、爬虫類ショップ、水族館職員などの職種は、仕事の現場で工具を使いレイアウトの為の工作、修理、加工などを行うことが多くあります。授業で実際にケージ、水槽台などを作ってみることで工具の使い方やコツなどを覚え、将来の職場で役に立つ技術を身に着けられる授業内容です。市販品にはない自分だけのオリジナルケージ、水槽台などを作ることができます。ただ作るだけではなく、自分なりに工夫し、オリジナルというメリットを生かすアイデアを考えてください。						
到達目標	電動ドリル、ドライバー、電動ノコギリなど、工作には欠かせない工具の使い方を覚える。 自分たちだけの市販品にはないアイデア、工夫のあるケージや水槽台などを作ることが出来る。 今まで出来なかったことが出来るようになり、飼育に対しての視野を広げる。						
評価方法と基準	主に実技の授業になり筆記試験はありませんので、以下の評価方法になります。 出席率60%以上 授業への取組む姿勢 掃除・片付がしっかり出来るか 作品の完成度は取組む姿勢や努力を反映したものになっているか 追試験は課題作品の提出クリアでC評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・実習	授業内容、到達目標の説明。工具の使い方説明	実技メイン及び説明後の作業になるので事前学習は不要
2		講義・実習	道具になれるための練習製作	—
3		講義・実習	道具になれるための練習製作	—
4		講義・実習	道具になれるための練習製作	—
5		講義・実習	メイン製作物の内容確認、グループ分け、内容決定まで	—
6		講義・実習	製作物の内容確認、製作スタート	—
7		講義・実習	各自説明を受けながら製作を進める	—
8		講義・実習	製作	—
9		講義・実習	製作	—
10		講義・実習	製作	—
11		講義・実習	製作	—
12		講義・実習	製作	—
13		講義・実習	製作	—
14		講義・実習	製作	—
15		講義・実習	製作物完成、作品発表、振り返り	—
準備学習 時間外学習		実技メイン及び説明後の作業になるので事前学習は不要		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クラフトワーク 化石プレパレーション2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	櫻井俊 介
学科・コース	エコ・イノベーション科 昼一4年制	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	本校卒業→動物園勤務→建築関係会社勤務→現在は個人で建築関係+爬虫類ケージ製作販売業を営む						
授業の学習 内容	アクア、爬虫類ショップ、水族館職員などの職種は、仕事の現場で工具を使いレイアウトの為の工作、修理、加工などを行うことが多くあります。授業で実際にケージ、水槽台などを作ってみることで工具の使い方やコツなどを覚え、将来の職場で役に立つ技術を身に付けられる授業内容です。市販品にはない自分だけのオリジナルケージ、水槽台などを作ることができます。ただ作るだけではなく、自分なりに工夫し、オリジナルというメリットを生かすアイデアを考えてください。						
到達目標	電動ドリル、ドライバー、電動ノコギリなど、工作には欠かせない工具の使い方を覚える。 自分たちだけの市販品にはないアイデア、工夫のあるケージや水槽台などを作ることが出来る。 今まで出来なかったことが出来るようになり、飼育に対しての視野を広げる。						
評価方法と基準	主に実技の授業になり筆記試験はありませんので、以下の評価方法になります。 出席率60%以上 授業への取組む姿勢 掃除・片付がしっかり出来るか 作品の完成度は取組む姿勢や努力を反映したものになっているか 追試験は課題作品の提出クリアでC評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・実習	授業内容、到達目標の説明。工具の使い方説明	実技メイン及び説明後の作業になるので事前学習は不要
2		講義・実習	道具になれるための練習製作	—
3		講義・実習	道具になれるための練習製作	—
4		講義・実習	道具になれるための練習製作	—
5		講義・実習	メイン製作物の内容確認、グループ分け、内容決定まで	—
6		講義・実習	製作物の内容確認、製作スタート	—
7		講義・実習	各自説明を受けながら製作を進める	—
8		講義・実習	製作	—
9		講義・実習	製作	—
10		講義・実習	製作	—
11		講義・実習	製作	—
12		講義・実習	製作	—
13		講義・実習	製作	—
14		講義・実習	製作	—
15		講義・実習	製作物完成、作品発表、振り返り	—
準備学習 時間外学習		実技メイン及び説明後の作業になるので事前学習は不要		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	フィールドテクニック1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江口
学科・コース	エコ・イノベーション科 昼ー4年制	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴							
授業の学習 内容	野外活動を行う上で、「安心・安全」を第1に、装備の準備、機材の正しい扱い方や応用を学んでもらいます。						
到達目標	<p>基本的な装備を準備できるようになる。 基本的な道具を正しく扱えるようになる。 その装備の説明を開説できるようになる。 野外活動において、安心・安全を前提としたスケジュール内でも起こりうる、不測の事態に対応できる。 また、不測の事態のリスクマネジメントを行うことができる。 自分を含めた同行者の命を守る為の知識技術を身に付ける。 最終試験において作品評価60点以上を取得し、単位の認定を受ける。</p>						
評価方法と基準	<p>作品評価:GPA(A100～90 B89～80 C79～70 D69～60 F59～0) 試験資格は学生便覧学則に沿うものとする。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。レポートはルーブリック評価を行う。 再試験は欠点が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋・もしくは課題の再提示)の提出をもってDの評価とする。</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義	オリエンテーション 目的・目標の確認	授業目的・目標を明確にして、方法としての学習方法を理解する
2	5月26日	演習	道具の使いかた 基礎 レインウエア ①	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる 防水と撥水の違いを学んでおく。
3	6月2日	演習	道具の使いかた 基礎 レインウエア ②	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 標高・風速の体感温度を学んでおく。
4	6月9日	実習	道具の使いかた 基礎 靴下と靴	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 低体温症と凍傷について学んでおく。
5	6月16日	実習	道具の使いかた 基礎 ザックの選び方	カモシカスポーツで実際に商品を見ながら、自分にあった物を選ぶことが出来る。ザックメーカーを下調べしておく。
6	6月23日	演習	道具の使いかた 基礎 装備の中身とバックギン・背負い方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 2泊～3泊に必要な道具を調べておく。
7	6月30日	演習	道具の使いかた 基礎 パナーの種類と注意	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 灯油、ガソリン、アルコールの違いを知っておく。
8	7月7日	演習	道具の使いかた 応用 火器演習・ロープワーク① 本結びと輪	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 パラコードを使い本結びの練習。
9	7月14日	演習	道具の使いかた 応用 火器演習・ロープワーク② もやい結びと応用	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前回の復習ともやい結びの練習。
10	8月18日	演習	道具の使いかた 応用 火器演習 ロープワーク③ 他人もやいとカムイックノット	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前回の復習と目を閉じて片手でもやい結びを練習。
11	8月25日	演習	道具の使いかた 応用 ロープワーク③ 電車結びと使い方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前回の復習と電車結びの練習
12	9月1日	演習	道具の使いかた 応用 ロープワーク④ 自在結びと自在の使い方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前回の復習と、自在結びの練習。
13	9月8日	演習	道具の使いかた 応用 ロープワーク⑤ 漁師結びとユニノット	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前回の復習と漁師結びの練習。
14	9月15日	演習	道具の使いかた 応用 ロープワーク⑥ 鉗結びと、束ね方	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前回の復習と鉗結び(バタフライノット)の練習
15	9月29日	演習	道具の使いかた テント張り実演 臨海公園にて	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を理解できる。 前期の復習と、道具の準備(バックギン)
準備学習 時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促します。	
【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じてプリントの配布を行います。予習としてYoutube動画の視聴を適宜勧めます。				
※材料は学校で準備をします。※自主的に作成したい作品の材料は各自準備してください。※クラフトルームの使用は必ず申請し、許可を得てください。				

科目名	フィールドテクニク2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江口
学科・コース	エコ・イノベーション科 昼ー4年制	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴							
授業の学習 内容	野外活動を行う上で、「安心・安全」を第1に、装備の準備、機材の正しい扱い方や応用を学んでもらいます。						
到達目標	<p>基本的な装備を準備できるようになる。 基本的な道具を正しく扱えるようになる。 その装備の説明を開説できるようになる。 野外活動において、安心・安全を前提としたスケジュール内でも起こりうる、不測の事態に対応できる。 また、不測の事態のリスクマネジメントを行うことができる。 自分を含めた同行者の命を守る為の知識技術を身に付ける。 最終試験において作品評価60点以上を取得し、単位の認定を受ける。</p>						
評価方法と基準	<p>作品評価:GPA(S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0) 試験資格は学生便覧学則に沿うものとする。 出席率66.7%以上に試験受験後の単位認定を行う。 再試験は欠点が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	演習	登山実習オリエンテーション 機材配布	尾瀬実習における、現地の下調べ。道具の再確認と個人装備と団体装備の再確認。
2	10月7日	実習	尾瀬山岳実習	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を実演できる。
3	10月8日	実習	尾瀬山岳実習	道具の必要性を理解し、道具のスペックで命を守る方法を実演できる。
4	10/13日	演習	ロープワークの応用 ミヤク釣り仕掛け チチワ結びと、その反転	ロープワークの復習(チチワ結び、誘導式目印N付け方を練習する)
5	10月20日	演習	ロープワークの応用 ミヤク釣り仕掛け 強化電車結びでのハリスと道糸の接続。漁師結びとユニノットを使ってのハリスと針の接続	ロープワークの復習をしておく(電車結びと握手結び・漁師結びとユニノット)
6	10月23日	実習	ハゼ釣り実習	自分で作った仕掛けで、ハゼ(食料)を釣り、食べる。
7	11月3日	演習	ナイフの種類とその使い方	ナイフ・軍手・ライターを使い竹細工を行う為、道具の準備を行う。
8	11/10日	演習	ナイフの材質について 竹細工① 竹の細断と鉋の使い方	自分の持っているナイフの種類、扱い方を練習しておく。
9	11月17日	演習	ナイフの使い方実演 竹細工② 箸を作る	自分の持っているナイフの種類、扱い方を練習しておく。
10	11/24日	演習	ナイフの使い方実演 竹細工③ フォークを作る	自分の持っているナイフの種類、扱い方を練習しておく。
11	12月1日	演習	ナイフの使い方実演 竹細工④ シースを作る	自分の持っているナイフの種類、扱い方を練習しておく。
12	12月8日	演習	火のおこしかた ファイヤースターター実演と火種	原始的な火おこしの方法をYoutube動画などで見て予習する。
13	12月15日	演習	火のおこしかた 炭の種類とダッチオープン	炭の種類とダッチオープンの歴史について予習する。
14	1月12日	試験	ロープワーク実演試験 2種選択 3種指定 一人5分	ロープワークの復習と反復練習。
、	1月19日	講義	調査・管理/教育/レジャー のバランスをとる事 共通の要素は?	最初の授業と、前期の試験課題を思い出し
準備学習 時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促します。	
【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じてプリントの配布を行います。予習としてYoutube動画の視聴を適宜勧めます。				
※材料は学校で準備をします。※自主的に作成したい作品の材料は各自準備してください。※クラフトルームの使用は必ず申請し、許可を得てください。				

科目名	動物の体のしくみ I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩田光一
学科・コース	エコ・イノベーション科昼一4年制	授業 形態	講義	単位	1	
教員の略歴	獣医師・学芸員の資格を活かし、動物園では園長を務めた経験もあり。					
授業の学習 内容	動物の生理、形態(解剖学的)、飼料などを中心に基本的な部分を中心に一年を通して学びます。動物による比較や人間との比較も動物園やそこで働くスタッフの意義やいくつかの動物園の写真をしながら解説を行う。					
到達目標	一年の講義にて動物の体の基礎を学ぶことにより動物を飼育する際に応用できるようにする。基本を知ることにより動物の異常をより早く発見できるようにする。動物を取り扱う者として飼育技術知識の習得やその説明などができるようにする。またこれによりどういった展示をし、どんなスタッフになるかを考えられる基本を作っていく。					
評価方法と基準	定期試験100% 筆記試験評価: GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	動物園はみんなにとってどんな所?動物園での仕事は?動物園についての授業って?		自身が思う動物園像や自身の夢などをいつでも話せるように整理しておいて下さい。(年間を通して)
2		講義	(公社)日本動物園水族館協会とは?		
3		講義	動物に関する社会的環境		
4		講義	生理学とは?生体の構成や基本的生命現象について		
5		講義	動物の体(骨格での動物比較や人間との違い)		
6		講義	神経(中枢神経と末梢神経)と筋肉(骨格筋、平滑筋、心筋)		
7		講義	血液(成分、役割、血液型など)ならびに血液循環について		
8		講義	消化について(口腔内消化、胃内消化)		
9		講義	消化について(小腸内消化、大腸内消化)		
10		講義	胸腔内臓器、腹腔内臓器、肝臓と腎臓の機能		
11		講義	体温について		
12		講義	前期講義まとめ		
13		講義	前期講義まとめ		
14		試験			
15		講義	試験解説		
準備学習 時間外学習			動物の生息地の環境(気候、地形、文化など)を意識し博物館や植物園などにも行って下さい。		
【使用教科書・教材・参考書】					
新飼育ハンドブック動物園編 1~5					

科目名	動物の体のしくみ I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤田智子
学科・コース	エコイノベーション科昼-4年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	日本大学農獣医学部卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習 内容	基本的な動物の体の構造や骨格、生理的な知識を学ぶ						
到達目標	飼育環境の改善、体調不良の原因を考えられるようになればよい。						
評価方法と基準	定期試験 80% 出席率 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	胃のはたらきについて説明できる	食事の量について考える
2	10月9日	講義	肝臓、胆のう、すい臓の分泌物について説明できる	血糖値について調べる
3	10月16日23日	実習	和歌山	
4	10月30日	講義	腎臓のはたらきを説明できる	塩分のとり方を考える
5	11月6日	講義	気管・気管支・肺のはたらきを説明できる	深呼吸について考える
6	11月13日	講義	生殖器のつくりを説明できる	陰茎の形を調べる
7	11月20日	研修	オーストラリア	
8	11月27日	講義	生殖器のつくりを説明できる	排卵について調べる
9	12月4日	講義	骨格のつくりを説明できる	骨の形を調べる
10	12月11日	講義	〃	骨盤のつくりを調べる
11	12月18日	講義	頭蓋骨と耳骨を説明できる	自分の声を認識してみる
12	12月25日	講義	眼球を説明できる	暗い所での視力について調べる
13	1月15日	講義	まとめ	
14	1月22日	講義	筆記試験	
15	1月29日	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JESC動物の体のしくみ				